

令和5年度 学習計画(シラバス)

| 教科 | 科目 | 対象学年 コース | 単位数 | 担当者氏名 | 教科書 著者 発行所 | 使用教材・発行所 | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-----------|-----------------|--|---|-------|--|-----------|---|------|--|------|--|---------------|---|
| 国語 | 現代の国語 | 1 | 2 | 前田彩 下林美咲 | 『高等学校 現代の国語』 坪内稔典 他26名(教研出版) | 国語辞典(旺文社) | | | | | | | | | | |
| 指導の重点 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通してものや社会に関わろうとする態度を養う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価の観点 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">知識・技能</td> <td>生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。</td> </tr> <tr> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。</td> </tr> </table> | | | | | | | 知識・技能 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | 話すこと・聞くこと | 「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 書くこと | 「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 読むこと | 「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |
| 知識・技能 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 話すこと・聞くこと | 「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 書くこと | 「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読むこと | 「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学習の評価 1 定期考査や課題テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 考査 | 単元 | 学習内容 | 学習の目標(評価) | | | | | | | | | | | |
| 1 | 4 | 中間 | 現代文入門 | 評論の読み方 | <ul style="list-style-type: none"> ・評論がどのような文章か理解できる。 ・評論の論じ方のパターンについて理解できる。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 対比の構造 | 「攻撃」と「共存」 | <ul style="list-style-type: none"> ・段落どうしの対比・関連に注意して、論理の展開を的確に捉えることができる。 ・筆者の考えを踏まえて、自分の考えを持つことができる。 | | | | | | | | | | | |
| | 5 | 期末 | 実用の文章 | 目的に合わせて表現を工夫する | <ul style="list-style-type: none"> ・「条例」の本文と「パンフレット」を読み、それぞれの目的や文体や表現上の特徴を捉えることができる。 ・「条例」の文章を他者にわかりやすい表現に変えることができる。 ・「パンフレット」を作成し、読み手にわかりやすい表現や内容になるよう工夫しようとしている。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 一般論と主張 | 「わらしべ長者」の経済学 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般論と主張を読み分け、筆者の考えに迫ることができる。 ・筆者の主張に対して、自分の考えをまとめることができる。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 実用の文章 | 資料を分析して考えをまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・資料についての説明を確認し、妥当性について考えることができる。 ・資料から読み取れることを端的にまとめることができる。 ・自分の暮らす地域の課題について考え、資料からポイントを挙げ、具体的に考察しようとしている。 | | | | | | | | | | | |
| | 7 | 7 | 論理とレトリック | コインは円形か | <ul style="list-style-type: none"> ・起承転結の文章構成の役割を理解し、論理の展開を読み取ることができる。 ・「レトリック」の内容について理解し、本文の要点を把握できる。 ・日本語の「レトリック」には、どのような効果があるか考察しようとしている。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 話すトレーニング | 説得力のある話し方 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な声の大きさと話すことができる。 ・相手を見て話すことができる。 ・話の構成を工夫して話すことができる。 | | | | | | | | | | | |
| 2 | 9 | 中間 | 具体と抽象 | 自然との共生とはどういうことか | <ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象を読み分けることができる。 ・人と自然の共生について考えることができる。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 10 | 実用の文章 | 根拠の妥当性を説明する | <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を納得させるために主張とつながる根拠を示すことの大切さを理解することができる。 ・根拠の示し方を考え、文章の表現の仕方を工夫することができる。 ・論証の仕方について理解し、表現を工夫しようとしている。 | | | | | | | | | | |
| | 12 | 期末 | 比較する | 絵を前に思いをめぐらす | <ul style="list-style-type: none"> ・比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解することができる。 ・文章から筆者が考えていることの内容を踏まえて、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・異なる文章を読み比べることで、筆者の意見を理解し、内容を捉えようとしている。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 視野を広げる | 他者を理解するということ | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と根拠などの情報と情報との関係について理解できる。 ・「そのこと」の指示する内容を明らかにしながら、筆者の考えの筋道を説明できる。 ・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容をまとめようとしている。 | | | | | | | | | | | |
| | | | 文章トレーニング2 | 要約する | <ul style="list-style-type: none"> ・文章の要点を的確に捉えることができる。 ・文章の構造を意識してまとめることができる。 | | | | | | | | | | | |
| 3 | 3 | 学年末 | 1 | 思考を深める一関連づけて読む | 時と自由の関係について | <ul style="list-style-type: none"> ・近代と時間の関係について理解できる。 ・「そのこと」の指示する内容を明らかにしながら、筆者の主張を捉えることができる。 ・「時間」について論じられた異なる文章を読み、「時間」に対する自分の考えをまとめることができる。 | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 実用の文章 | グラフ・実用文の読み方 | <ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、実用文の基本的な読み方が理解できる。 ・グラフ、実用文を読み取り意見をまとめることができる。 | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 言語技術の実践 | レポート | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて調査することができる。 ・調査し、疑問を持ったことについて深めることができる。 | | | | | | | | | | |